



日本プライマリ・ケア連合学会  
近畿ブロック支部 活動報告

発行人：外山 学  
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区  
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A  
あゆみコーポレーション内  
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055  
E-mail jpca@a-youme.jp  
HP square.umin.ac.jp/pc-kinki/

ニュースレター No.14 (2016.3)

[地方会詳報] 第29回近畿地方会 (11月29日)

武田 以知郎(地域医療振興協会 明日香村国民健康保険診療所)

日本プライマリ・ケア連合学会第29回近畿地方会は成功裏のうちに終了することが出来ました。関係の皆様には学会運営への協力やたくさんの方に参加していただいたことに大変感謝いたします。

今回は奈良県立医科大学医師会主催として、地元地区医師会である橿原地区医師会に共催をいただき、奈良県橿原市の奈良県社会福祉総合センターを会場に開催致しました。大会組織は代議員メンバー(奈良県支部)を中心として、医師会や各職能団体から選出いただいた方々とともに実行委員会を組織し、全11回の打ち合わせを重ねてまいりました。学会長は古家仁奈良医大附属病院長、実行委員長には同大学総合医療学講座西尾健治教授がともに素晴らしい指揮を執られました。

もともと近畿地方会は開催地域の自由運営ですが、今回県支部が発足したのを機に、本企画に賛同していただいた多職種の方々や学生たちと、奈良らしい企画を創り上げて来ましたので、いくつか特徴を紹介させていただきます。

- #1 限られた運営予算のため最初からダウンサイジングを目指し、シンプルでなるべく手作り感のある企画を目指しました。
- #2 実行委員会でワールドカフェを行い、現場の諸問題や課題を共有し、それらを少しでも反映できる企画を考えました。実行委員会はその後も多職種のグループワーク形式で進め、参加感のある形を維持しました。(※ページ2に続く)



開会式 挨拶

近畿ブロック支部 (KPCA :Kinki Primary Care Association) について

近畿ブロック(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県)に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・ 支部長 : 外山学 (学会理事)
- ・ 副支部長 : 雨森正記 (学会理事)、大島民旗 (学会理事)、戸田和夫
- ・ 幹事 : 福原俊一 (学会理事)、朝倉健太郎、足立光平、石丸裕康、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、関透、空地顕一、高木幸夫、武田以知郎、西尾健治、畑伸弘、羽野卓三、松井善典、松村理司、水野融、三ツ浪健一、森村美奈、吉本清巳
- ・ 監事 : 大島久明、澤木政光



- # 3 集まった演題は、キーワードを通じて分類し、多職種が交流できる場となるように配慮したテーマ構成としました。抄録を査読者でチェックし、演題名でメッセージ内容がわかるような題名を求め、よりアカデミックになるように試みました。
- # 4 座長には主に近畿の幹事・会員から、テーマに沿った先生に依頼。特に口演では座長の総括とテイクホームメッセージをお願いしました。
- # 5 シンポジウムもカフェスタイルシンポジウムと称し、今までとは趣向を変えたユニークな取り組みを導入してみました。



カフェスタイルシンポジウム



ゆるキャラ「しょうとくた医師」

- # 6 実行委員会の投票で優秀演題賞を表彰することにしました。
- # 7 テーマでもあった“つなぎ育てる”を実現するために、学生や研修医、若手が集まることのできるセッションを設け、また運営面でも多大なサポートを頂きました。(奈良医大ゆるキャラ「しょうとくた医師」君も活躍)
- # 8 総合診療専門医制度について、副理事長講演やポートフォリオ指導などを通して参加者に理解と周知を求めました。
- # 9 抄録には家庭医療研修プログラム紹介を取り入れ、また前日にサイトビジットを行いました。
- # 10 指導医講習会を学会に合わせて実施してみました。

## 【協議会報告】兵庫県プライマリ・ケア協議会研究集会 (12月13日)

戸田 和夫 (戸田内科・リハビリテーション科/兵庫県明石市)

兵庫県医師会館の2階大会議室にて行われました。参加者は100名(医師24名、歯科4名、薬剤3名、看護師14名、ケアマネ1名、栄養17名、理学療法士2名、作業療法士2名、放射線技師3名、臨床検査技師2名、歯科衛生士8名、臨床工学士4名、介護福祉士3名、社会福祉士2名、保健師2名、その他9名)でした。

基調講演では、兵庫県健康福祉部高齢社会局高齢対策課長の小野俊樹氏が、「県内の地域支援事業の進捗状況と県の取組」について講演されました。主な内容としては、①介護保険制度の改正内容について、②地域包括支援センターの現状と問題点、③在宅医療・介護連携の推進について、④認知症への取り組みでした。いずれの課題についても、普及啓発の遅れやマンパワー不足などが浮き彫りになりました。

次に報告テーマとして、「在宅医療・介護連携の推進における多職種の取組み」について、各医療団体の代表者による取り組みの報告がありました。兵庫県栄養士会からは諸岡歩氏が「My お食事メモ」を活用した在宅での栄養ケアを報告され、療在宅養者の栄養管理情報をまとめた「My お食事メモ」について述べられました。歯科衛生士会からは江角紘子氏が「川西市歯科医師会立訪問歯科センターの取組み」について報告され、口腔衛生改善による誤嚥性肺炎のリスク軽減などにおける訪問歯科センターの取組みについて述べられました。介護福祉士会からは河野美抄緒氏が「訪問介護における医療連携の現状と課題」について報告され、在宅介護における医療職との連携について、具体例を挙げて報告されました。社会福祉士会からは山内賢治氏が「地域包括ケアにおける社会福祉士会の取組み」について報告され、県社会福祉士会および社会福祉士の役割について、今後生じる介護、障害、生活困窮などの福祉ニーズに必要なネットワーク化について述べられました。医師会からは豊田俊氏が「兵庫県下における医療介護連携の課題」について報告され、県下の在宅医療・介護連携推進事業に対する取組み状況の中で、相談支援や切れ目のない在宅医療提供体制の必要性を訴えられました。

その後のシンポジウムでは、地域ケアと包括ケアに分けて考えていること、口腔ケアにおける足底接地の重要性、訪問介護と医療連携、3Cシステムのコア、事前指示書の考え方についてなどが議題となりました。

## [勉強会報告] 関西プライマリ・ケア関連合同新年セミナー 2016 (1月17日)

竹中裕昭 (竹中医院/大阪市浪速区)

今年も「深めよう絆、育てようプライマリ・ケア」をテーマに、関西のプライマリ・ケア関係のみなさまに御参加いただき合同新年セミナー・互礼会を開催した。

今年は鈴木富雄先生が教授に就任された大阪医科大学が会場となった。鈴木先生はドクターGとしてご高名な先生だが、この日は先生の日頃の活動を紹介された。大学病院でプリセプター制の導入、各科との密接で柔軟な連携作り、プロフェッショナルリズム教育に関する質的研究が行われる他、高知県や兵庫県中播磨・西播磨地区の医療支援も行われ、今後のますますの御活躍が期待される。



続いて、大福診療所の朝倉健太郎先生を中心に、長浜赤十字病院の三澤美和先生、さくらいクリニックの桜井隆先生、木戸医院の木戸友幸先生が自らの歩みを紹介され、夢を持ち、目の前のことに全力で当たりながら、ふと舞い込んでくるチャンス(計画された偶然)を逃さない準備を重ねておくことが重要であるというディスカッションが行われた。

最後に、ポートフォリオに関する企画が行われ、参加者から「ポートフォリオって周辺のことばかり言っているイメージがあり、そんなこと言っている暇があれば、患者を治したれよと思う」など率直な御意見が得られ、ポートフォリオは医師自身の成長記録・学習記録であること、学習者にはカテゴリー分類がわかりにくいので、まずポートフォリオを書かせ、指導者がカテゴリーに関するアドバイスを送る必要があるなど、有意義なディスカッションが展開された。

## [勉強会報告] ERチェックリスト大会 (2月6日)

大倉 孝史 (市立福知山市民病院)

当院は京都北部唯一の救命救急センターであり、1～3次すべての患者を受け入れている。昨年4月からは農村地域を担う大江分院が発足し、地域医療を支えている。救急外来は重要な教育の場でもあるが、同時に、地域基幹病院として致命的な疾患を見逃さないことや迅速な初期対応が常に求められる。このため、基本的な知識、初期対応を頭の中に定着させるために上記勉強会を年に2回開催している。

『研修医当直御法度(寺沢秀一他著)』をベースに救急外来での基本的知識や対応方法、陥りがちなピピットフォールなどを勉強した。アドバイザーとして救命救急センター、総合内科スタッフの他、院外講師に当院の元総合内科で初代ERチェックリスト作成者の浅川麻里医師(現市立奈良病院)を招聘し、研修医2年目が内科担当、外科担当、マイナー担当に分かれ、1年目にプレゼンする形式で実施した。

5月に行ったチェックリスト大会は臨床経験の少ない1年目研修医に対して行うため、基本的な問題だけであった。しかし、2月になると1年目研修医もそれだけでは満足度が低いと考え、プラスαの知識を盛り込んで提示した。例えば oncologic emergency や創傷処置の工夫などリスト表を超えた知識、対応などを2年目研修医が各科ローテーションの経験に基づいて提示した。2年目研修医にとっても知識の再確認とアップデートをすることができ、さらにアドバイザーから適宜フィードバックやディスカッションがあり1年目研修医のみならず2年目研修医にとっても非常に充実した会となった。

## [地方会予告] 第30回近畿地方会

<http://www.aeplan.co.jp/pc30kinki/>

### 「地域医療再生に向けたプライマリ・ケア ～点から線そして地域へのネットワーク～」

- ・会期：2016年11月27日(日) ・大会長：羽野 卓三 (和歌山県立医科大学 教育研究開発センター)
- ・会場：和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス (JR紀勢本線 紀三井寺駅西口より徒歩約10分)
- ・主催：和歌山県立医科大学 教育研究開発センター、日本プライマリ・ケア連合学会 和歌山県支部

**[支部からのご連絡]** **ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております!**

- (1) **地域支部・グループ研究活動に対する補助**について：近畿ブロック支部では、府県単位の地域支部活動やさまざまなグループ活動を積極的に支援するために、補助を行っています。要項等はニュースレター12号 ([http://www.primary-care.or.jp/shibu/pdf\\_nl/kinki\\_12.pdf](http://www.primary-care.or.jp/shibu/pdf_nl/kinki_12.pdf)) の4ページをご参照願います。
- (2) **「専門医・認定医/認定薬剤師 単位申請」及び「ブロック支部補助」申請の手順**について：  
単位申請については、ブロック支部幹事会での承認の後、学会本部の認定委員会での審査という 2段階の手続きとなります（ブロック支部からの補助については、ブロック支部幹事会の承認のみで決まります）。できるだけ、申請される方の負担を減らせるよう、窓口を一元化し、郵送回数を最小とした手順を、以下に整理しました。
- ① 申請者から近畿ブロック支部事務局へ、申請用ファイル書式を請求  
近畿ブロック支部事務局：あゆみコーポレーション  
〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A号室  
E-Mail：jpcsa@ayoume.jp TEL. 06-6441-4918 FAX. 06-6441-2055
- ② ブロック支部事務局から申請者へ、申請用ファイル書式一式をメール添付で送付  
【専門医・認定医研修講座 企画書 / 認定薬剤師研修講座 企画書】【ブロック支部報告書】  
補助金を申請する場合は【ブロック支部補助申請書】
- ③ 申請者からブロック支部事務局へ、記載済みファイルを送付  
【ブロック支部報告書】 \*これのみの場合は、メール添付で可（郵送不要）  
\*補助金申請する場合は【ブロック支部補助申請書】に捺印の上、**郵送**
- ④ ブロック支部事務局が幹事会メーリングリストに情報提供し、承認手続き
- ⑤ 承認後、ブロック支部事務局が【ブロック支部報告書】に支部長印を押印して、申請者に郵送で返送  
(補助金申請の手続きは、幹事会承認にて終了)
- ⑥ 申請者は、【専門医・認定医研修講座 企画書 / 認定薬剤師研修講座 企画書】及び支部長印が押された【ブロック支部報告書】 各々に捺印の上、本部事務局に郵送
- (3) **府県支部の所属**について：学会会員の 都府県(支部)の所属は、原則「勤務先」の所在地となっており、ブロック支部事務局に申し出ることにより、移動(又は重複)が可能です。  
学会に登録した連絡先(郵送物が届く住所)以外の府県支部への所属をご希望の方は、近畿ブロック支部事務局までご連絡をお願いいたします。各府県支部からの連絡が確実に届くようにするため、差し支えがなければ、連絡先を「勤務先」にする(変更には学会への届出が必要です)ことをお勧めいたします。今後の府県支部活動の発展のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- (4) **府県支部の連絡窓口及び担当者一覧**
- [滋 賀] 浅井東診療所 事務局 井関 敏夫 〒526-0203 長浜市野瀬町 828 番地  
E-mail jpcashiga@gmail.com Tel. 0749-76-8111 Fax. 0749-76-8118
- [京 都] 下京西部医師会事務所 京都支部長 小泉俊三  
〒601-8452 京都市南区唐橋堂ノ前町 15-9 エステート南ビル 3 F  
E-mail simonishi@ishikai.or.jp Tel. 075-693-3900 Fax. 075-693-3911
- [大 阪] 益田診療所 外山 学 〒571-0067 門真市石原町 18 番 15 号  
E-mail toyama@osaka.med.or.jp Tel. 06-6901-0231 Fax. 06-6901-8227
- [兵 庫] (準備中：仮) 兵庫県医師会 事務局 西田 恵 〒651-8555 神戸市中央区磯上通 6-1-11  
E-mail m.nishida@hyogo.med.or.jp Tel. 078-231-4114 Fax. 078-231-8113
- [奈 良] 奈良医大総合医療学教室 秘書 生駒 佳子 〒634-8522 橿原市四条町 840  
E-mail soushin@naramed-u.ac.jp Tel. 0744-29-8905 Fax. 0744-24-5739